

カイゼンDX人材育成講座 ～今こそ生産性向上を実践しよう～：8/21日～12/16日 シラバス

教育助成対象範囲

		8月			9月			10月		11月	12月	3月	
推進 リーダー	講座	改善知識習得			IT知識習得及び体験学習			実践					
		第1回 (ハイブリッド) 8/21(水) (13:00-17:45) 仮) TKP 経営層・リーダー合同講座	第2回 (ハイブリッド) 8/28(水) (13:30-17:30) 第1研修室 座学 改善手法	第3回 (リアル) 8/29(木) (13:30-17:30) 第1研修室 実習 VSM作成演習	第4回 (リアル) 9/4(水) (13:30-17:30) 第3研修室 実習 I E+演習	第5回 (ハイブリッド) 9/11(水) (13:30-17:00) 会議室 座学 技術編	第6回 (リアル) 9/18(水) (9:30-16:30) 会議室 IoTハンズオン	第7回 (リアル) 9/25(水) (9:00-16:00) 第2研修室 IoT改善実践	第8回 (ハイブリッド) 10/16(水) (13:30-17:30) 第1研修室 自社課題分析	第9回 (ハイブリッド) 10/24(木) (13:30-17:30) 第1研修室 課題解決実行計画	第10回 (オンライン) 10/25(金)～11/29(金) 自社 メンタリング期間 (2回)	第11回 (ハイブリッド) 12/16(月) (13:30-17:40) 多目的ホール 成果発表会	活動共有会 (オンライン) 3月(13:30-17:30) 自社 共有会
		概要	・DX (IoT化) の効果を製造業を中心とした事例で学び、改善とDXの必要性を理解。(木村社長) ・リーダー・経営層共に生産性向上改善の必要性意識づけ	製造現場プロセスの分析方法の基礎を理解し、人の作業性や、工程内の効率性について I E の観点で改善の手法を理解し、座学を通して改善の目つきを身につける	物と情報の流れ図、兆候のグルーピングの実践を通じて改善の目つきを養う。	座学：I E の観点で改善の手法を理解する。 演習：ピンボードゲームの実習を通して I E の目つきを身につける	センサーや通信、データの可視化など、IoTに必要な技術を中心に学習する。また、デジタル化に必要な指標の数値化について考える。	見える化に必要なデータの取得の仕方からデータの見える化までを実際の機器を用いて実体験する。	IoTを活用し、現場改善の流れが、実際どのように行かについて、ケーススタディを通じて理解を深める	ワークショップを通じて、自社の課題と、リーダーが担当する業務の課題とのつながり理解し、リーダー課題を、優先度、影響度を考慮して整理する	課題解決に向けて、数値目標を設定し、目標達成に必要なシステムや体制、スケジュールなど、具体的な計画を立てる	最終発表に向けての相談期間を1か月程度 (Web会議・メール中心に実施)	各社生産性向上プランと知見の共有を経営者の前で行う講師からもフィードバックを受ける
講師	(株)ウフル・松本先生	産振構	産振構	産振構	産振構/サポーター	産振構/インタフェース	iSTC(株)	産振構/サポーター/(株)ウフル			産振構		

		8月			9月			10月		11月	12月	3月
経営層	講座	基礎知識習得			基礎知識習得	実践				実践		
		合同講座 (ハイブリッド) 8/21(水) (13:00-17:45) 仮) TKP 経営層・リーダー合同講座		特別講義① (ハイブリッド) 9/6(金) (13:30-16:50) 第1研修室 経営層向け_特別講座①	特別講義 (リアル) 2024/9/12 (木) 13:15～17:00 ISTC本社 経営層・リーダー合同講座	特別講義② (参加企業現地訪問) 9/9(月) ～ 10/15 (火) (1社あたり3時間程度) 自社 経営課題分析・個別アドバイザー リーダーヘフィードバック				成果報告 (ハイブリッド) 12/16(月) (13:30-17:40) 多目的ホール 成果発表会	活動共有会 (オンライン) 3月(13:30-17:30) 自社 共有会	
		概要	・IoTの概論と製造業を中心とした事例を学び、ビジネス観点での活用を知る。 ・リーダー・経営層ともにDX化の意識づけ。 ・リーダー・経営層共に生産性向上改善の必要性意識づけ		経営者層 (投資の決裁権限を持つ方) が、経営戦略を考える上でIoT等のデジタル技術をどう活用すればよいか? 事例から前提知識を学ぶ	参加者 (特に経営層) のモチベーションを上げるため、実際の成功事例現場を見学し、意識を上げる	講師陣が御社を訪問し個別指導 (講師陣による各社の工場視察と合わせて実施。日程調整がつかない場合はオンライン) 経営課題分析: 経営層、推進リーダーを踏まえ、自社の現状を分析し、周囲環境の変化に対応し今後どのような姿を目指すのかを考える。又、目指す姿の実現に向けての課題整理を行う。 個別アドバイザー: 個別に経営者と面談を行い、IoT導入に関する相談や今後の進め方のすり合わせを行う (ここでのアウトプットを自社課題分析で活用) リーダーヘフィードバック: 経営課題分析、個別アドバイザーで整理した自社課題および目指す姿などについて、現場担当ヘフィードバックを行う				各社生産性向上と知見の共有を経営者の前で行う講師からもフィードバックを受ける	取り組みの内容を育成塾内で共有し、取り組みの振り返りを行う
講師	(株)ウフル・松本先生		(株)ウフル/MIC/産振構	iSTC(株)/産振構	(株)ウフル/MIC/産振構				産振構/(株)ウフル	産振構		

		10月			11月				
オープン セミナー	講座	オープンセミナー 計画 Chat GPT活用	オープンセミナー 計画 ロボットの活用	オープンセミナー 計画 AI講義	オープンセミナー 10/22(水)13:00～ 多目的ホール DX(IoT)事例紹介	フォローアップ研修会 10/23(木)(8:50～11:00) フォローアップ研修会	オープンセミナー 11月下旬(13:30-17:30) BI ツール体験セミナー	オープンセミナー 11月? (13:30-16:30) IoT展示会	
		概要	Chat GPTの使い方を理解し、利用することで、教育速度の向上につなげる	ロボットの使用方法、構造を理解することで、将来自社に導入を検討する材料とする	AI (画像認識) の使用方法を理解。AIと画像認識を組み合わせた際の構造を理解することで、自社に活用できないか? 検討材料にする	実際に中小企業さんが実践したDXやIoT、見える化の事例紹介。Sireとして導入実証を検討される企業様の総会など	前年度導入実証企業によるIoT化の事例紹介等 (ビデオ配信を後日実施)	おすすめBIツールを安心して無料で学べるセミナーを開催し、機能や目的、種類等を分かりやすく解説します	IoTシステムを活用し、現場改善の実例を紹介し理解を深める
		講師	サプライヤー/産振構	サプライヤー/産振構	サプライヤー/産振構	NSW/産振構	協力企業/産振構	サプライヤー/産振構	サプライヤー/産振構